

るものではない。お念仏の教えは限られた者

題材法話

「アリとキリギリス」というイソップ童話を存じだと思いま

す。そのあら筋は、『ア

リが冬の食べ物、た

め、暑い夏に一所懸命

働きまします。一方、キ

リギリスはバイオリンを

弾き歌を唄い楽しく過

ごします。やがて冬が

きて、キリギリスには

食べ物がないのでアリ

が、お願いするのを拒

食、食べ物はないと拒否

します。その結果、キリ

ギリスは飢えて死んでし

まう。『というたような

話です。この話を現代

版

た、このお話をもとに

パロディ話（現代版

を作り変えたユート

が皮肉交じりの別

があります。

が



同じです。

事、ところが、アリに返

家の裏口から入って様

子を見たと、アリは皆

んな死んでいたので過

す。夏に働き過ぎた過

労死です。

は、そこでキリギリス

め、食料を食べ、その貯

冬を楽しく過ごしたと

いう話です。

なんとも殺伐としたパ

ロディですが、人間は

生、生きるために働か

が、働いても死ねば

ど、働いてしまふ。富を

の一方、要領よく富を

むさぼる輩もいる。現

代社会の大きな課題で

す。

と、ところがこのパロ

イ話にはさらに新し

す。バジョンもある

の。それは、やは

の。それは、やは

の。それは、やは

の。それは、やは

の。それは、やは



でも食べ物を買、その金

に冬を過ごすことがで

きたというお話です。

聞くと、新パロディ話

れる「ダイバシテイ」

「多様化」といった言

葉が浮かんできます。

に、様々な生き方を互

か、認め合い、互いを生

く。そう、生きてい

は、このパロディ話に

す。

は、何かホットしま

○利他の精神

教の根本思想である、仏

「縁起」という考え方

に通じます。

の、あらゆるすべての

な、相互に関わり合

という原理です。

え、自分のことだ

詰まつてしま

この私は他者を

の。私は他者を

の。私は他者を

の。私は他者を

の。私は他者を

の。私は他者を



ま、自らを利するこ

の精神」が生じます。

話をさらに仏教的に膨

ら、家族と一緒にキ

ギリスの音楽を聴いて

いるうちに、ふと『自

分は、遊んでばかりい

る、遊んでばかりい

ていたんだ』というこ

とに気づき、コンサ

ストが終つて、打ち明

けします。

方も『実は、私達も働

いて、馬鹿にしている

ん、家族を守るため

ど、家族を守るため

一生懸命働いてるこ

が、分かった』と打ち

け、お互いが自分の

値観だけのことを見

な、分かったことを反

話になりました。

今私達は、人間とし

今私達は、人間とし

今私達は、人間とし

今私達は、人間とし

今私達は、人間とし

今私達は、人間とし